

平成25年度第3回芦屋市自転車駐車場指定管理者選定委員会 会議要旨

日 時	平成25年10月18日(金) 14:00~18:30
場 所	北館2階会議室3
出席者	委員長 朝沼 晃 副委員長 三谷哲雄 委員 遠藤尚秀 委員 高原利栄子 委員 中野正勝 事務局 宮崎技監 北田都市建設部長 下岡都市建設部総務課長 中川都市建設部総務課主事 米原企画部長 宮崎行政経営課長
会議の公表	<p>■ 非公開 □ 一部公開</p> <p>会議の冒頭に諮り、出席者5人中5人の賛成多数により決定した。 [芦屋市情報公開条例第19条の規定により非公開・一部公開は出席者の3分の2以上の賛成が必要] <非公開とした場合の理由> 審議の内容に法人情報が含まれているため、非公開とする。</p>
傍聴者数	0人

1 会議の成立

委員定数5人中、5人の委員が出席しており、芦屋市指定管理者選定委員会規則第3条第2項により会議は成立した。

2 審議内容

(朝沼委員長) 本日は面接審査ということになりますが、面接の手順について事務局から再度確認のために御説明いただけませんか。

(事務局 下岡) 本日は、2次審査ということで、この後プレゼンテーションに入ります。1社10分以内ということにしておりまして、終了1分前に鐘で合図をするように考えております。質問時間もおおむね約10分を予定しております。全部で6社の応募がありますので、6社の面接審査を行い、審査、採点をしていただきまして、本日は候補者と次点候補者の選定をしていただきます。最後に報告書を委員会でもとめていただきまして、委員長は捺印をしていただき、他の委員の方は署名していただきます。

それから、集計結果に基づきまして、応募者についての講評を各委員の皆様からいただきたいと思っております。

それを受けまして、12月議会に諮って最終決定されるという手順になっております。

(朝沼委員長) ありがとうございます。

(朝沼委員長) それでは、これから面接審査を始めたいと思っております。

[A社]

(朝沼委員長) それでは、本日は面接審査ということで10分間のプレゼンテーションをしていただきたいと思っております。それから、10分ほど各委員のほうから質問をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。それでは、どうぞお願いします。

(A社) まず、事業計画書のほうごらんいただきたいと思うんですが、まず団体の代表ですが、我々の団体は[REDACTED]、高度成長期のモータリゼーションの進展にあわせ、まちづくりにおける駐車場、[REDACTED]するため、[REDACTED]設立されました。営利を目的に設立された団体ではありません。

また、主な事業内容としては行政が策定する駐車場整備計画、[REDACTED]業務、公共駐車場、公共自転車駐車場の設計及び工事、駐車場、自転車駐車場の運営管理業務となっており、[REDACTED]

続いて基本方針ですが、公共の自転車駐車場は自転車等の放置の防止を図る交通安全のための施設、営利目的ではない住民のためのサービス施設ということを念頭に置きまして、本部と職員、現場管理人ともどもそれをより繰り返し運営に携わります。また、我々の団体は公共駐車場の運営に当たって、住民とのコミュニケーションを大切にすることに重点を置いており、おはようございます、いってらっしゃい、お帰りなさい、お疲れさまといった声掛けの徹底を日ごろの研修会、日ごろの職員のモニタリング等を通して教育し、実行させていただいております。

さらに、コミュニケーションの徹底ばかりでなく、公共事業だからこそ運営経費の節減に努めさせていただいております、支出もルーズにならないよう徹底して管理させていただいております。

また、我々の団体は[REDACTED]ですので、ただ漫然と自転車駐車場の管理運営を行うのではなく、需給バランスや自転車の導線、電動アシスト付自転車とか前籠、後ろ籠等の昨今増えてきている自転車への対応の対策、その他その時々にあわせた問題、課題に対応して施設を最大限に活用した運営管理を行わせていただけます。

次に、業務の推進能力についてですが、自転車駐車場の指定管理業務として、現在[REDACTED]市、大阪では[REDACTED]市や[REDACTED]市、その他[REDACTED]市、[REDACTED]市等、13都市166の駐車場、約7万8000台の自転車駐車場の運営管理をさせていただいております。

また、指定管理以外の業務といたしましても、自転車駐車場に関しては4都市、22の駐車場、約8,600台の運営管理をさせていただいております。そのほかに、自転車駐車場ばかりではなく、[REDACTED]市や[REDACTED]市の自動車駐車場についても指定管理で管理させていただいております。

それでは、指定管理スタイル、施設の評価ですが、毎年業者アンケート調査を実施しており、指定管理、我々が引き継いだときに行ったアンケート調査では、以前の団体より清掃や整頓がされている、挨拶がよくなったということで多大評価をいただいております。実際、前の団体から管理人を引き継いでやらせていただいておりますが、自分たちが研修等を通して現場のほうに挨拶の徹底、清掃の徹底というのをかなり熱心に指導している結果だと思っております。

そのほか、行政のホームページで公開されたモニタリング評価等を見ますと、自転車の盗難ケースも減少しており、また省エネの推進など改善の意欲も強く、全体的に良好に管理運営されていると高めの評価をいただいております。

続いて、勤務管理体制になりますが、全体の取りまとめは本部の担当理事及び担当職員、さらに阪神地区並びに神戸市区、どちらで担当するか、今決めかねているところですが、現場にはJR芦屋駅北に判断能力を有し、ある程度の権限を持つ総括の責任者を常駐させ、業務の遂行がスムーズになるようにしたいと思います。また、管理人は市内の高齢者を中心に運営管理時間を賄うのに必要なできるだけたくさんの人数を雇用させていただきます。おおむね50名の雇用を予定しております。

あと、基本的に管理人はパート雇用を予定していますが、我々の団体は外注事業者に頼らずに、今働いている皆様に声掛けをさせていただいて、面接をさせていただき、再雇用させていただく方向で考えております。どうしても外注してしまうと、外注先の雇用ルールに従ってしまい、目の届かないところが多々ありましたので、我々は基本的に全ての管理人を直接雇用させていただいております。また、対象者全員に雇用保険に加入するとともに、希望者には社会保険まで加入させていただいております。

今回サービス向上策としてその説明させていただきますが、機械ゲートの導入を考えておりまして、そのため人員配置としてはこれまでより若干少な目の配置とさせていただきました。

我々の団体の特徴的なところといたしまして今回大きく2つの提案をさせていただいております。その一つが管理経費削減しながら、施設の設置目的を最大限に発揮するものとして機械ゲートの設置を提案させていただきました。機械ゲートはJR芦屋駅北と阪神芦屋駅の南を見学させていただいたときに、収容規模に対して非常に多くの管理人が配置しておりましたので、ここを有効にするために機械ゲートを設置することで管理人の配置人数を減らすことが可能になり、また違反自転車は入庫できなくなるなど適正駐車場の推進にもつながります。さらに、阪神芦屋駅南は市役所の利用者の無料化の処理導入にかなり手続が面倒ですが、今度無料精算をすることによって今100円を預かったものを返すような作業がなくなりますので、かなり利用者への負担も軽減されると思います。さらに、JR芦屋駅の北につきましても、1時間の無料の処理をやっておりましたので、それもゲート化によりかなり容易に対応できるようになると思います。

2つ目の大きな提案として、貸し借りのサイクルシェアリングというものを提案させていただいております。一般的にレンタサイクルというと駅の利用者が端末の交通手段として、バスやタクシーに変わる交通手段として自転車を利用するサービスですが、我々の提案しているサイクルシェアリングとはもう定期利用者に特化したサービスで、自宅から駅に来る正利用者と駅から学校に向かう逆利用者、この二人で1台の自転車をシェアしてもらうというシステムです。これにより効率的に場所が有効利用につながりますし、例えば4月に自転車を置いたまま駐輪との契約をやめてしまう人がいらっしゃいますが、そういう廃止自転車の対策にもつながります。

最後になりますが、収支計画について、収入に関しましてはこれまでの利用実績、これを参考に新設の駐車場の分を若干上乘せさせていただきました。また、支出に関しましては機械ゲートを設置する費用を5年間の管理で拡幅させていただきますので、5年後には機械ゲートのほうは市に譲渡させていただきます。

その計画で、人件費の削減につながりましたので大規模修繕費積立金が1年目は2,400万円、2年目以降は2,200万円納付させていただく計画となりました。

以上で、説明のほう終わりにさせていただきます。

(朝沼委員長) どうもありがとうございました。それでは、各委員のほうから御質問をさせていただきます。何か御質問ある方、どうぞ御発言ください。

(三谷副委員長) 機械ゲートを導入とありましたが、それについてもう少し詳しく教えてください。安全性の面であるとか、維持管理費であるとか、譲渡された、寄附をされた後の維持管理が本当にできるのかどうか、その簡易性というか継続的にそれを使うことができるかどうか、そのあたりのことを少し御説明お願いします。

(A社) 多分いろいろな都市で、実績として我々もゲートを導入させていただきました。地下駐車場ですとどうしても出入り口が多い関係で、出入り口ごとに管理人を配置していたため、収容規模にかかわらずかなりの人を要する場合がありますが、ゲート化

にすることによって、管理人がいなくても管理できる状態、ただし安全のために何名か置いて配置しますが、そういうことも可能ですので関係費は大幅に節減につながりますし、実際に運営して困るということはありません。入出庫も処理速度にあわせてゲートの数設けるようにしておりますので、それも問題なく利用していただけるかと思えます。

あと、継続性に関しましても、5年で壊れるということもありませんし、10年以上使っていただけたらと思いますので、5年後に譲渡させていただいても有効に使っていただけるものだと思っております。

(三谷副委員長) わかりました。終わります。

○遠藤委員 済みません、今の関連で、事業費について、管理運営費の中の、先ほどお話しいただきました機械式のゲートですが、リースなどの項目に計上されているのでしょうか。

(A社) その他の項目に計上しております。

(遠藤委員) その他の5年リースというところですね。

(A社) はい。5年間で、実は3,000万円をリースするような形です。

(遠藤委員) 過去の実績でそれだけの金額でできるということですか。

(A社) はい。出入り口の数と設けるゲート数から逆算していただいて。

(遠藤委員) 1台当たり大体どれぐらいというのが相場なので、それを掛け算したらこれぐらいの金額になるということですか。

(A社) はい。実際に1社だけメーカーに見積もっていただいて、金額を出させていただきました。実際には、何社かで見積もりを行います、今回は一社にお願いしました。

(遠藤委員) ありがとうございます。

(中野委員) 関連ですが、設置場所がJRと、それから阪神南というのが御提案ですが、構造的にはスライドですか。それとも、開閉ですか。

(A社) 開閉です。

(中野委員) それと、利用者のときのオンオフは利用者がやるのですか。

(A社) カードでタッチして、JRのイコカですか、イコカのイメージだと思っただけだと思います。要するに、カードを読み取り機に接触させて、ゲートが開くような形です。

(中野委員) 固定ですか。それとも、地べたに置くのでしょうか。

(A社) 固定します。

(中野委員) わかりました。何らかの工事が伴うわけですね。

(A社) はい。

(中野委員) ありがとうございます

(朝沼委員長) 今の関連ですが、例えば定期利用者はカードを発行していただけますが、一時的に使う人はどうするのですか。

(A社) 一時カードを抜き取っていただきまして、精算機に戻すと料金が出ますので、お金を入れていただくシステムです。

(朝沼委員長) そうすると一時使用の場合は、その時に駐輪場利用料金を払うということですね。

(A社) はい、事後精算ですね。まず入るときに、ゲートが閉まっていますので、一時利用のボタンを押して、カードを抜いて入ってもらって、戻ってきたらそのカードで精算機を通過していただいたら料金が表示されます。

(朝沼委員長) そうしたらまた開くのですか。

(A社) はい。料金を入れたときに開きます。あと、市役所の場合ですと認証をもら

いますので、管理人にそのカードを渡して、出庫の処理をしていただければ、管理人がタッチするみたいな形です。

(朝沼委員長) そのような施設はもう既に他で実施されているのですか。

(A社) はい。結構ゲートを使った駐輪場というのは多々あります。

(朝沼委員長) 近辺で実施しておられるのですか。

(A社) 我々がやっているのは■■■■市になります。

(朝沼委員長) まだそれほど多くはないのですか。

(A社) 多いと思います。今、そのゲートを設置しているのが、例えば■■■■市、■■■■市、■■■■市等、ゲートを設置させていただいております。

(朝沼委員長) わかりました。他に御質問ありませんか。

(三谷副委員長) では、もう一つお聞きします。機械化といいますか、効率化と相反することかもしれないですが、例えば違反者への注意だとか、先ほどコミュニケーションをしっかりとっていきと言われていましたが、その点をどうされるのか。効率化と人とのつながりのバランスをどのようにするのか説明してください。

(A社) ゲートにしたほうが管理人に余裕がありますので、例えばパスで入ってくる人、帰る人、これは声かけというのは今まで以上にできると思います。今ですと、1人の人に対応している時間が長くてほかの人まで目配りできませんが、ゲート管理にすることによってゲートだけのチェック、あとは利用者との対応になりますので、声掛けをしてコミュニケーションもとりにやすくなるものだと思います。

(三谷副委員長) わかりました。

(朝沼委員長) 他にありませんか。

(中野委員) 応募要領でもお示しさせていただいていたと思うのですが、芦屋市の場合には全市景観地区と指定しており、庭園都市宣言をしております。そこで、具体的な提案はないのですが、御提案いただいている植栽管理や除草をどの程度お考えになっているのですか。

(A社) これまでの実績で見ますと、■■■■市で管理しているような例、それから、駐輪場のほうにこだわらず、周辺まで目の届くところは対応させていただきたいと思います。

(朝沼委員長) よろしいですか。

(各委員) はい。

(朝沼委員長) そうしましたら、これで終わらせていただきます。どうも御苦労さまでした。

(A社) ありがとうございます。

〔B社〕

(朝沼委員長) それでは、これからプレゼンテーションを10分間ということでお願いします。それから、10分程度で各委員のほうから御質問等させていただきたく時間をとらせていただきます。よろしくお願ひします。

(B社) まず、■■■■のことについて簡単に説明させていただきます。

私どもの会社は、自転車駐車場及び自動車駐車場、この■■■■として■■■■年に設立しており、以来■■■■年にわたって続けております。また、このたび芦屋市様の指定管理業務を担当します■■■■は、■■■■年に開設しまして、以来■■■■年の長きにわたって自転車駐車場の管理運営一筋に進んできた■■■■でございます。今までにおよそ260件、

16万5,000台の自転車を扱わせていただけてきました。この長年にわたって培ってきましたノウハウをこのたびの芦屋市様の自転車駐車場の管理運営に十分に生かすことができるものと確信しております。

それでは、このたびの指定管理の応募に当たりまして事業計画で、主な取り組みとして掲げさせていただいた3点について説明させていただきたいと思っております。

1点目はお客様の安全・安心・快適のための取り組みについて、2点目は地元への貢献について、3点目は法令遵守ということについて、以上の3点についてちょっと述べさせていただきます。

これ以後自転車駐車場のことを駐車場と言わせていただきますのでよろしくお願い致します。

まず、安心・安全・快適という点ですが、この点に関しましては駐車場の管理業務はサービス業であるということの自覚を持って取り組むことが大切だと考えております。駐車場を利用するお客様はもちろんのこと、その駐車場周辺の地域の市民の皆様に対しても不快感を与えないように取り組んでいきたいと考えております。

この点について、駐車場を利用する方々のことを考えますと多くの方が通勤、通学の方々だと思っております。駐車場というのはこの人たちにとって一日で一番最初に訪れて、また帰るときは一番最後に訪れる、そういう場所ですので、その人たちにとって一日が早く始まり、終わりも早く終わっていただくというそういう心がけを持って言葉遣いには気をつけ、思いやりのある爽やかで明るい挨拶と、それと親切的な対応を心がけて取り組み、尽くしたいと思っております。

また、駐車場の清掃や整理、整頓も心がけ、きれいにして利用していただくと、これは実際に利用の方々に一日じゅうの方も大変多くいらっしゃいますので、その人方がスムーズに駐車できていくことも必要ですので、そういった整理整頓も徹底させていただきたいと思っております。

それと、お客様にとって安全・安心・快適な駐車場となるためには、やはりアンケート調査をさせていただいたり、現場に御意見箱等を設置して、また日ごろのお客様との日々のコミュニケーションの中から皆様がどういうことを望まれているのかということをも十分くみ取らせていただくと、さらなるサービスの向上とお客様の満足度アップにつなげることができるように取り組んでいきたいと考えております。

また、駐車場、駅前とか人通りの多い場所にあるというのが多いため、駐車場を利用しない方々とも接する機会が多くありますので、駐車場周辺もきれいに清掃をさせていただいて、こういった駐車場を利用しない方のため、またその周辺に住んでいる地域市民の皆様に対しても、気持ちのよい挨拶に心がけたいと考えております。

次に、地元への貢献に関する取り組みなのですが、この点に関しましては駐車場を管理運営する私たちにとっても、地域の一員であるということの自覚を持って業務をやっていくのが大切だと考えています。子ども110番の運動とか地域活動に積極的にかかわって、地域密着度を高めて地元との連携体制を築いていきたいと。何かあればすぐお互い連絡、あるいは体制を築いていきたいと考えております。

また、雇用という面に関しましては、私どもの計画では駐車場の管理に従事する方、68名を予定しておりますが、この方々は皆さん地元在住の高齢者を中心に雇用したいと考えております。また、駐車場に必要な消耗品とか、それから事務用品、これらに関しても地元業者、地元商店街から仕入れて、地元へ貢献したいと考えております。

また、今回JR芦屋駅南口にあった民間の駐車場が閉鎖するということですので、今後駐車場不足が多分予想されるのではないかなと思っておりますので、芦屋市様と御相談の上、駐

車場の増設とか新設等も積極的に取り組んでいきたいと考えています。

三つ目として、法令遵守ということですが、■■■■は芦屋市様の代行者であるという自覚を持って業務に当たらせていただくことが大切だと考えております。駐車場に関する条例とか、個人情報に関する条例、情報公開に関する条例、その他いろいろ規則がありますが、それを守るとともに、今回募集要項で御指定いただいている各種駐車場業務、この仕様書等も遵守していく必要があると考えております。

また、放置自転車対策、市の行われている施策にも協力していくことが必要だと考えておりますし、また日々運営していく中で利用状況の低下、各種1事業は幾らとか、定期契約は幾らとか、売り上げとか、そういう正確な資料を年間通じて数字を正確に把握し、また当然市のほうに業務報告は提出させていただきますが、その正確な作成と正確な報告、これは指定管理者として責務と考えておりまして、市役所から市民の皆様から信頼をいただける指定管理になるように取り組んでいきたいと考えております。

以上、主な取り組みとして3点述べさせていただきましたが、一番の私どもの言いたいことは、お客様の安全・安心・快適のために日々の管理の中で、常に創意工夫するという気持ちを持ち続けて、きめの細かい心のこもった管理運営をさせていただくと、これに尽きるかと思っております。

皆様に、■■■■に任せてよかったと思っただけのように全力尽くしてまいりたいと思っております。ちょっと早いですがこの辺で終わらせていただきます。ありがとうございました。

(朝沼委員長) それでは、各委員のほうから御質問がありましたらどうぞ。

(朝沼委員長) では、私のほうから先の一つお聞きします。先程からの話の中にも出ましたけれども、周辺の美化、これはありがたいことですが、芦屋はそういう庭園としたいということ。具体的にはどのようなことを考えておられますか。

(B社) 今回の駐車場を見て回りますと、路面上にある駐車場や地下にある駐車場等ありますが、歩道上にある駐車場に対しては、やはりその周辺、ごみがちょっと、利用しない方でも通行の方にとって目障りだったり、汚いなど思われてしまいますので、その業務開始前に清掃させていただきます。それとか、私どもでは管理棟のあるところには、四季折々の花を飾ったりさせていただいておりますので、それもさせていただきたいと思えます。地下に関しても、やっぱりその周辺の清掃はさせていただきたいと考えております。

(朝沼委員長) はい。ありがとうございます。他にございませんでしょうか。

(三谷副委員長) お話の中に、創意工夫はいとわないということおっしゃいましたが現状、今何カ所か見学に行かれましたか。

(B社) はい。行かせていただきました。

(三谷副委員長) その中で、何かお気づきになった点とか、その中で工夫できそうな点がもしあれば教えていただけますか。

(B社) 実際見させていただいて、提案の中にも書かせていただきましたが、基本的にリニューアルさせていただきたいと、きれいにさせていただくという。実際、運営の中で、このあたりこうすれば効率がよくなるとか、なかなか今の段階ではわかりませんが、日々管理していく中で当然利用のお客様からこうしてほしいということがあろうかと思えますので、それに対して真摯に考えて、会社として考えられる工夫をしてみたいということが、私どものスタンスでおります。

(三谷副委員長) そうすると、想像なのですが、そちらの会社の中ではそういう要望を受けて、それを社内で考えフィードバックする仕組みがあるということですか。

(B社) はい、あります。させていただきます。

(三谷副委員長) なるほど。

(株式会社) それが一つの顧客満足度アップのための方法ですので、それはさせていただきたいというのがあります。

(遠藤委員) 駐車場の管理運営費は、26年度からですが、支出の項目で事務局費という項目があり、今回1,300万円ということで、ちょっと積算根拠がよくわかりませんが、27年度は一旦下がって1,213万5,000円、その後戻ったりしているのですが、理由は何でしょうか。

(B社) 駐車券や印刷関係に余分にかかるのではないかと考えております。2年目は余裕があるということで減額させていただきました。それと、制服等も当初購入しないといけないと思いますので、XXXXXXXXXXにも在庫がございますけれども、その足りない分がありますので、仕入れさせていただきたいと考えております。

(遠藤委員) 2年目以降はかからないということですか。

(B社) そうです。

(遠藤委員) ただし、28年度また1,300万円に戻っておられますが。

(B社) 実績報告書を見させていただいて、実績が1,300万円ぐらいになりますので、そうさせていただいたということになります。

それと、1,2年のころアンケート調査をして、私どもの会社もそれで足りないこともあろうかと思っておりますので、その協力費とか、補充が必要になってくる可能性出てくると思いますので、その費用も余分に見させていただくということで、3年目以降ももどに戻したということでございます。

(朝沼委員長) 他にありませんか。

(中野委員) 管理運営費ですが、募集要項でも23年、24年の実績をお示しさせていただいており、それに比べて、独自収入が相当アップで見積もっておられるのですが、キャパは現状、プラスアルファですので、どのように考えておるのでしょうか。

(B社) まずは、民間の駐車場が閉鎖になったということですので、それがこちらに流れてくるということも一つあります。

それと、今回市も増設されていますので、その増設分。それで、実際の計算は実績で台あたりの台数の売り上げを出させていただきました。大体70円、定期、一日とございますけれども、1台あたり70円という売り上げを実績から出しまして、それに単純に新規の台数を掛けさせていただいたという。それで、毎年0.5%収入のアップを見させていただきました。これは営業努力ということで、そう見させていただきました。

(中野委員) 関連ですけれど、JR南の民間駐車場が閉鎖になりましたよね。それで、市のほうで別の駐輪場を指定管理とは別に3カ所、設置しておりますが、その辺は御存じですか。

(B社) 今工事されていたところでしょうか。

(中野委員) はい。

(B社) そこは見させていただきました。

(中野委員) それでも、なおかつ今回の指定管理のほうに相当流れてくるということですか。

(B社) そのように考えております。閉鎖された駐輪場が1,000台ぐらい收容されているということでしたので、民間の駐車場を管理されている管理人さんに聞きますと、1,000台ぐらい契約しているということですので、それが多分。反対側にも地下に民営がありましたけど、そこにも若干行かれると思いますけれども、大半は市のほうに流れてくるのではないかなということを予想させていただきました。

(中野委員) はい、わかりました。

(朝沼委員長) 他にございませんか。

(中野委員) 駐輪場の実績を見させていただいております、実績がたくさんある中で特にこの駐車場、駐輪場だけは一般的はこういう管理をやっていますとか、利便性、安心、安全ということを大事に置かれているということですが、この辺で特に実績の中で追加説明をしておきたいというようなところはありますか。

(B社) 実績の中ですと、ほとんど[]が挙げられている駐車場ですけれども、指定管理としては今[]市の駐車場させていただいて、あと[]ですね。これもさせていただいております。

[]に関しては、途中で機械化したという経緯もありまして、それと同時に当然機械化すると管理人に不要な部分が出てくると。そうすると、極力機械化を有効にするためには、人の配置をいろいろ工夫させていただいて、市に納付しなきゃいけないということもありますので、できるだけ多く納付したいということであれば人のやりくりを工夫して、本当に必要なところにスポットで配置すると。実際今そのように、朝の通勤通学時間に余分に配置して、あとはちょっと手薄と言わないまでも一人ぐらいで循環させていただくと。あと、買い物客が多い場所では、当然お昼の時間帯、夕方の買い物時間、特に手厚く人を配置する、そういう弾力を持った人の配置をさせていただきたいと考えております。

また、管理というのではないのですが、緑のカーテンをやらせていただいて、最初に私どもの会社が[]のある駐車場で緑のカーテン運動を始めたのを、[]に認められて、[]全体で緑のカーテン運動をやり始めたということもございます。

(朝沼委員長) 機械式の駐車場の管理は[]ですか。

(B社) []ではゲート式です。

(朝沼委員長) ゲート式と言っても、ゲートだけですか。

(B社) はい。ゲートで、中はフリーです。ここは一時利用です、こちらは定期ですとなりますと、皆さんゲート式ですので乱雑に置いて行かれます。それをそのままにしておくと大変な混雑状態になりますので、整理整頓をきちんとさせていただきます。それで、できるだけとめさせていただいて余裕をもたせ、それで、放置をなくすためには放置の自転車をできるだけ引き込むようにしなければいけないので、乱雑な状態だとなかなか使用台数が上らないということになります。

(朝沼委員長) そういうものですか。

(B社) はい。

(朝沼委員長) 今回、芦屋市にされたこの提案の中には、機械式のゲートの導入だとかというのは特には書いておられないのですが。何かゲート式の問題点もあるからですか。

(B社) ゲート式は提案しておりません。実際に見させていただくと、スライド式のラックですね、芦屋市のゲート式はございませんでしたので、スライド式のラックを市と相談でこの駐輪場のあいているところに置かせていただければ、使用台数がふえますのでそこに置かせていただくと。現在されている民間の電磁ロック式ですね、個別にやるのは見かけましたが、入り口がゲート式の機械は見かけませんでしたので、そういったことで提案は場所があればスライド式のラックを置かせていただくということです。

(朝沼委員長) 特に、ゲートを機械式でやったときに、何か実際に管理する上では不都合がある等、そういうことはありますか。

(B社) ないです。ただ、ゲート式ですと確かに乱雑に置かれてしまうということがありますので、その整理整頓はきちんとさせていただきます。それと、個別ロックですと、

当然少ししか開きませんのでほとんど乱雑はなくなります。それと、スライドラックもそこに収納していただければ乱雑さはなくなりますけれども、ただゲート式は乱雑になってしまうことがあります。

(朝沼委員長) なるほど。

(B社) それと、ゲート式の宿命なのですが、朝の通勤時間帯に多くのお客様が来られると、一々閉まったり開いたりしていると、時間がかかってしまうことがあります。

(朝沼委員長) それはどうしてもありますね。

(B社) もう一つは、不正利用にもつながります。1台あいているスペースですぐに閉まりませんから、2人ぐらい学生が出てしまっているということもあります。そのゲート式だとどうしても朝のピーク時になってくると、人が立ってあけっ放しにして、駐車券をお渡しして一時のお客さんには使っていただくということもしなくてはいけなくなってしまいます。

(朝沼委員長) そういう問題もあるのですね。

(B社) ■■■は創設以来、■■■管理が基本です。こういう時代ですから、電磁ロック式の駐車場もやっております。基本は■■■管理というのがうちの会社の特徴でございます。人が使っていただく大事な自転車を人が管理するというのを一つの会社の売りというか、セールスポイントにしております。

(朝沼委員長) わかりました。他によろしいですか。それでは、終わります。ありがとうございました。

(B社) ありがとうございます。

[ミディ総合管理株式会社]

(朝沼委員長) これから10分間プレゼンテーションしていただきます。それから、その後10分程度で各委員のほうから御質問をさせていただきますので、お答えいただければと思います。それでは、今から始めていただきたいと思います。どうぞ。

(ミディ総合管理株式会社) では、ただいまからプレゼンテーションを始めさせていただきます。まず、お配りしております事業計画書の2ページをごらんください。

(1)の基本方針について御説明いたします。貴市の駐車場の運営方針を達成するには、安全対策はもちろんのことお客様が安心して利用できるようにサービス内容を充実させることが重要と考えております。

当社は三つの施策を掲げます。まず一つ目、中段に記載しております具体的内容を実施しまして、サービスの充実、利便性の向上を図ります。二つ目は下段に記載しています放置自転車撲滅運動を行いまして、芦屋市の景観の維持だけでなく、歩行者の安全の確保を図り、駐輪場の利用促進を促します。

三つ目は3ページをごらんください。上段に記載しております地域密着度を高め、利用しやすい環境にいたします。地域に密着した運営を行うことで周辺状況をいち早く把握するほか、緊急時にも迅速に対応ができるものと考えております。

この三つの施策により、よりよい芦屋市のまちを創造していく手段の一つとして自転車駐車場の役割を十分に果たしてまいります。

では、4ページをごらんください。(3)の団体の業務推進能力について御説明いたします。まず、駐車場事業の実績といたしまして、当社は指定管理者としてこれまでに8自治体の駐車場と貴市を含めました10自治体の自転車駐車場の管理運営を行っております。利用促進策の実施によります利用料収入の増収、環境整備、サービスの向上策を行いまし

て、市政に貢献しているものと思っており、今後も貴市に大きく貢献していきたいと考えております。

では、その下、シスムJR芦屋1, 2, 3の運営開始について御説明いたします。

平成25年9月よりJR芦屋駅南側の民営駐車場の閉鎖に伴います放置自転車対策といたしまして、当社の投資を行い直営の自転車駐車を運営しております。貴市駐輪場への緊急時の応援体制も整備しております。

では、その下、総合ビルメンテナンス会社としてのメリットについてですが、当社はあべのハルカスを含みます複合商業施設等で設備、経理、清掃のビル管理の事業を展開しています。ビルメンテナンス会社としての特性を生かしました迅速、かつ的確な対応が可能となっております。

では、6ページをごらんください。(1)駐車場の管理体制について御説明いたします。まず、組織図をごらんください。芦屋市自転車駐車場は当社第二事業部の駐車場グループが統括いたします。施設の修繕や消防保守点検等は第一事業部の建設工事グループが、清掃業務に関する指導等はあべのハルカス事業所が行います。また、緊急を要する事態が発生した場合は三宮にあります兵庫事業所からの応援体制も整備しております。

では、8ページをごらんください。真ん中にございますJR芦屋駅南自転車駐車場5, 6, 4の運用について御説明いたします。JR芦屋駅南自転車駐車場5, 6に関しましては、3から巡回を行い対応するほか場内防犯カメラ、また出入口等にカーブミラーを設置しまして、安全対策を講じてまいります。また、供用開始予定でございますJR芦屋駅南自転車駐車場の7, 8, 9に関しましても3から巡回を行いまして、安全な施設の御提供に努めてまいります。

では、20ページをごらんください。(3)管理の質、利用者のサービスの向上の取り組みについて御説明いたします。内部監査によるさらなるサービスの向上の取り組みについて御説明いたします。

当社は平成18年より貴市の自転車駐車場の管理をさせていただいておりますが、現状に満足することなく常にお客様の立場になって考え、対策を実施してまいりました。その一つとしまして、当社社員やアドバイザーであります各グループ担当が巡回を行い、場内の看板の劣化や利用率の調査、また接客対応、個人情報管理等実態調査を行っております。細かくチェックを行い、また常に改善意識を持つことで、そしていつも新しいところで取り組むように努めております。

では、21ページをごらんください。施設の改善について御説明いたします。まず、一番上にありますバイクラックの撤去についてですが、阪神芦屋駅西自転車駐車場のバイクラックは、写真のとおり老朽化のため、ほぼ使用されていない状況になります。当社は、このバイクラックを撤去しまして平置きにして、原付と自転車の駐車スペースにして環境を整えていきたいと考えております。

また、その二つ下に提案しておりますスライド式駐輪ラックの増設についてをごらんください。阪神打出駅自転車駐車場は非常に利用率が高い施設となっております。現状当施設の東側は平置きとなっております。そこにスライド式駐輪ラックを導入しまして、収容台数をふやしより多くのお客様が御利用しやすい環境にしたいと考えております。

では、22ページをごらんください。JR芦屋駅南自転車駐車場3への機械化の御提案について御説明いたします。当施設に自動ゲートの導入を予定しております。機械を導入することによる人件費の削減分はお客様サービスとして還元していきたいと考えております。

では、31ページをごらんください。(2)施設の安全対策について御説明いたします。

この中の2, 防犯カメラの設置をごらんください。今現在防犯カメラが設置されていませんJR芦屋駅南自転車駐車場の3, 5, 6と阪急芦屋川駅南の松ノ内自転車駐車場には、貴市と御相談の上となりますが、防犯カメラの導入を考えております。お客様と職員の安全を図ってまいります。

では、33ページをごらんください。カーブミラーや注意喚起看板設置について御提案いたします。JR芦屋駅南自転車駐車場5は、写真のとおり場内へのアプローチが狭く、また長い通路の上敷地の構造が外から見えない環境にあります。自転車同士や歩行者との接触事故が発生するという危険性から、フェンスにカーブミラーを設置して、入り口と場内の見通しをよくしてまいります。そのほか、アプローチの導入口に接している歩道の片側には、この下の写真のとおり見通しを遮るフェンスがあります。衝突事故等の危険性がございますので、飛び出し注意看板を設置して、事故防止に努めてまいります。

そのほか、今後供用開始予定でございます南7, 8, 9に関しましても同様の対策を講じます。

では、35ページをごらんください。自主事業への取り組みについて御説明いたします。当社は4つの取り組みを御提案いたします。まず、1つ目が通学・通勤等の時間を快適に過ごしていただきますよう本の無料貸し出しコーナー、ライブラリーの設置やパズル工具配付、2つ目が各自転車駐車場にサイクルポートを設置しまして、コミュニティサイクルの導入を御提案します。

3つ目が、お客様が御希望であればブレーキや空気圧の点検、また虫ゴム等の交換を実施する自転車点検お困りヘルプサービスの実施、4つ目が定期料金をインターネット上で自動決済ができますシステム、シスネットの導入でございます。

この4つを御提案したいと考えております。

以上、御説明してまいりましたが、今回の当社の提案は改革です。新たな種をまき、新たな気持ちで取り組み、そしてこれからも貴市に御指導いただきながらですが、芦屋市自転車駐車場という大木を育てていきたいと考えております。御清聴ありがとうございます。

(朝沼委員長) ありがとうございます。それでは、各委員のほうから御質問させていただきますのでよろしくお願ひします。御質問ある方はどうぞ。

(中野委員) 機械式ゲートの設置というような御提案があったのですが、具体にはどこへどう提案なさる予定でございますか。

(ミディ総合管理株式会社) JRの芦屋駅南自転車駐車場3ですね。3において、今は一時利用専用として運用しておりますが、そちらを全く無人というわけじゃなく、お客様の安全に配慮した形で人を配置するものの24時間御利用できるように自動ゲートを設置しまして、そうすることにより人件費の削減が図られるであろうと考えております。その削減分に関しましては、当社の利益というわけではなくて、環境整備やお客様にサービスという形で還元したいと考えております。

(朝沼委員長) どうぞ。

(三谷副委員長) 現の指定管理者というところで、現場のことをよく御存じというメリットなのですが、2点ありまして、1点は現に阪急のこちらの駐車場ですが、これちょっと稼働率が低いのかなと思います。あるいはまた新たな指定管理にも指定されますと、どういう取り組みをして利用率をアップしようかとされているのが1点。

それから、もう1点は、指定管理を今なさっている中で、特に苦慮されることがありましたらどのような、もしくは安全性等を中心ですけど、何か事故が多いとか、事故はこういうケースが多いとかでも結構なんですけど、それを具体的に教えていただけますか。

(ミディ総合管理株式会社) まず1つ目の阪急の芦屋川の稼働率の件についてですが、これはもともと市営駐輪場の本来の目的というのは利用率をアップというわけではなくて、放置自転車の防止であると考えております。現状、芦屋川のほうに関しましては、阪神エリアであるとかJRエリアに比べて放置自転車も少ない状況となっております。当社としてももちろん、ゼロというわけではございませんので、適正な駐輪場利用の御利用お試し券でありますとか、当社の啓発によって放置自転車だめですよといった形で、放置自転車を削減するというのが最終的には自転車駐車場の利用率の向上につながっていくのかなと考えています。

もう1つ、7年間管理させていただいて苦慮した点と伺いますか、やはり一番問題となっているのは、当社の目標としてはクレームゼロ、もしくは放置自転車ゼロの環境をつくりたいと考えて管理しておりました。しかし、さすがにこの2つをゼロというのは今現状でも達成できていないということですね。

ただ、クレームに関しましては、やはり一番クレームの内容で多いのが管理人の接客態度でありますとか、言葉遣いですね。これに関しては、今まで当社が管理させていただいてきた中で比較的数のほうが増えてきております。今後は、さらに改善していくという意識を持って、教育でありますとか、お客様の満足度向上のために環境整備させていただいて、今後も芦屋市様のために貢献していきたいと考えております。

(ミディ総合管理株式会社) 今、御質問いただいた内容の防犯面ですね、防犯面という部分では、やはりお客様の安全という部分からは、やはりこの物騒な世の中、防犯カメラというのは非常に大事なツールかなと考えています。いろんな事故、事件についても防犯カメラで解決する、また抑止力という部分でもかなり防犯カメラは非常に重要なかなということで、今後今申し上げたような形でつけていきたいということと、やはり事故、飛び出し注意、それからちょうどこの下の駐輪場につきましても、やはり一旦停止を行わずに、そのまま来て上がるという事案も発生しておりますので、これにつきましては床面にシールを張ったり、非常に見やすい形で整備しておりますので、これがよければさらに各駐輪場にも同じ形で対応策を打っていききたいと思います。32ページに書いてありますように、そういった形で一番安全面と防災面は考えていきます。

(朝沼委員長) では、私のほうから質問したいのですが、削減もやる中でゲート式という機械、機械ゲート式を導入、JR芦屋の南のほうで考えておられる、それはいいのですが、24時間とおっしゃいましたが、この24時間人も配置されるのですか。

(ミディ総合管理株式会社) いいえ、人ではございません。例えば、定期利用の受け付けでありますとか、朝の混雑時の場内の案内ですね、そういった時間に限って管理人を配置しまして、それであとは利用に関しては精算機を置きますので、ゲートが自動的に料金を回収させていただくという形を考えております。

(朝沼委員長) 結局深夜、夜ですね、酔っ払った人が夜かもわからないですが、何か事故があったり、あるいは出し入れのときの問題が起こったときの対応はどうなるのですか。

(ミディ総合管理株式会社) 今現状芦屋市様のほうでは機械式というのはございませんが、当社がさせていただいてるラポルテ駐輪場、ラポルテさんの周辺にあるゲート式ではなくてラック式になりますが、こちらのほうも24時間対応可能な2カ所、開いております。それで、例えば出庫の際に、ラックこれ外れませんといった状態のときには、そのインターホンを通して御連絡いただくことで、遠隔で開放したり、例えば緊急の場合であれば、警備員がかけつけるという対策を考えております。

(朝沼委員長) つまり、インターホン等で何か機械が故障した、あるいは事故が起こ

ったといったときに、すぐ連絡がとれる体制は考えているということですか。

(ミディ総合管理株式会社) はい、もちろんです。

(朝沼委員長) それは、本社かどこかでそれを受けるのですか、24時間。

(ミディ総合管理株式会社) ゲートの管理をする、ゲートを設置するメーカーになるかと思うのですが、基本的に実際対応するのは警備会社、警備の会社になります。

(朝沼委員長) 警備会社。そこから、ミディさんのほうに連絡が入るのですか。

(ミディ総合管理株式会社) そのようになります。

(朝沼委員長) それは大丈夫なのですか。

(ミディ総合管理株式会社) はい。報告も来ますし、その警備会社が直接その現地へ急行するという、両方の対応です。

(朝沼委員長) だから、受けるほうがやっぱり24時間体制で情報の受け入れ体制は本社としてはあるということなのですか。

(ミディ総合管理株式会社) はい、ございます。

(朝沼委員長) わかりました。ありがとうございます。他にございますか。

(三谷副委員長) 自主事業の取り組みについてですが、本の貸し出し、パズルの配布、非常におもしろい取り組みかなと思っています。実際にはどのようにそれを実施されるわけですか。少しお聞かせください。

(ミディ総合管理株式会社) 自転車駐車場というのは、やはりとめてから通勤される方が一番多いケースだと思います。電車に乗っていらっしゃるときに、本を読んで時間をつぶしていただくために御提供させていただく予定ですが、実際に本の調達等は社員等から不要な書籍を集めて、それを御提供させていただくというふうになっております。

(三谷副委員長) そうすると、もしこの契約が切れたときには、その本やパズル類はどのようになるんですか。

(ミディ総合管理株式会社) そのあたりは、次の管理人様がおられますので、当然協議させていただきますけれども、元手がかかっていないものですので、お渡しさせていただきます。

(三谷副委員長) 不用のものを集められるという点で、多分そうかなと思いましたが、それでも非常におもしろい取り組みではあるかなと思います。

それともう1点ですが、コミュニティサイクルの導入という点についても、これも実は同じことを聞きたくて、契約がとれなかった場合にその後どうなるのか、継続できるのか。つまり、市が提供しているサービスが途中で切れてしまうのではないかと気になったのですが、その辺どうやっていくのかお聞かせください。

(ミディ総合管理株式会社) 今回御提案させていただいていますのは、今現状はレンタサイクルという形で無償で御利用いただいているのですが、各駐輪場にサイクルポートを置いて、自転車を用意してということになるとやはり若干費用のほうがかさできます。ということで、世間一般の相場に比べて非常に安い100円という料金で御提案さし上げたのですが、当社はこの金額でさせていただくという思いでいます。ただ、次の業者さんがこの金額で同等の内容のサービスを継続されるかといった場合に関しては、先方の都合もございますので、協議させていただくことになろうかと思うのですが、原則は引き継いでいただいたほうが市民の方、あとは芦屋市に来られる方にとっては利便性のいいサービスと考えておりますので、そこはなるべくうちのほうも協力できるような体制は考えています。

(三谷副委員長) そうですか。

(ミディ総合管理株式会社) はい。お客様、遠方の方も東京とか横浜の方も御存じで、

わざわざ乗っていただいて、当然そちらへ返していただきますが、喜んでいただいています。それを、1カ所じゃなくて、我々としてはもっと拡大させていきたいということでコミュニティサイクルを考えております。

(三谷副委員長) わかりました。

(朝沼委員長) このレンタサイクルは、ちゃんと帰ってきているのですか。

(ミディ総合管理株式会社) 帰ってきています。

(朝沼委員長) 乗り逃げされて、数カ月で何台か減るということはないのですか。

(ミディ総合管理株式会社) 身分証明というのか、免許証の番号と補償金2,000円をいただきます。

(朝沼委員長) そうですよ。

(ミディ総合管理株式会社) そうしないと、そのまま乗って行かれる。ちょっと派手な自転車なので、余りそのまま乗っていかないと目立つかなと思いますけども。そして、我々としては拡大させていただきたいと思います。

(朝沼委員長) わかりました。

(中野委員) JR南の機械式の御提案をいただいたのですが、むしろサービスという御説明、お考えをお示しいただいたのですが、管理経費を見させていただきますと、応募要領で本社の実績を見させていただいているのですが、人件費が7,100万円で200万円ほど減っていますよね。この辺は、先ほどのサービス低下につながらないというところの基本的な考え方との差がどこにあるのか、一定お示しいただきたいのと、それと事務局費が実績では1,100万円ほど計上されているのですが、これもなおかつ840万円という形で運営しているということで、トータル的に管理体制を現状の管理体制よりか幾らかなくすというか、金額面では下がっておりますので、その辺どう考えておられるのか聞かせていただきたいと思います。

(ミディ総合管理株式会社) まず、JR芦屋南の3に関する経費ですが、今現状は有人管理する計画として計上させていただいております。人員配置もそのままの予定で今は計上させていただいているのですが、今後指定されたときに芦屋市さんと協議させていただいた上で、こういう配置でいきたいのでこれだけ経費改善されますと。それで、その分を還元させていただきたいなということですので、その分を反映させております。ただ、実績よりも下がっているというのは、JRの芦屋駅北と阪神の芦屋駅南のほうで人員配置の削減を図りました。その減った分が200万円ほど年間として下がっている計算になっております。

(朝沼委員長) そうすると、今回の御提案の内容としたら、全駐輪場を前提として管理される人員ですね、管理人さんの人員は合計、トータル何名ぐらいになるのですか。

(ミディ総合管理株式会社) 今現状、約60名程度の管理人で運営しております。

(朝沼委員長) はい。それをどれぐらいまで。

(ミディ総合管理株式会社) 今計画では、55名ぐらいになるかと思うのですが、これに関しても、やはり減るから首というわけにはもちろんいきませんので、管理人さんと相談させていただいて、例えば出勤日数若干減らさせていただいて同じ人数で回すとかいった感じで、職員に対しても配慮した形で削減の計画は進めたいと思っております。

(朝沼委員長) ほかに何か質問ありますか。

(中野委員) 地域密着度を高めるということではいろいろな御提案があり、緑のカーテンとかというようなことを見ると、御社は確か一級造園管理士がおられますね。その辺のノウハウは広くお持ちだと思いますが、実際問題芦屋市の状況は過去5年間実績で駐車場管理していただいておりますので御存じのように。全市が特別景観地区指定、芦屋川特別景

観地区指定、全市が田園都市整備というような芦屋市独自の取り組みがあります。その辺で実績を踏まえて今後新たに、具体的には季節産の構造とか花壇等といった提案がありますが、具体にお持ちのところの案があればどんなものでしょうか。

(ミディ総合管理株式会社) 今現状は、写真にも載せさせていただいておりますJR芦屋駅南3ですね、3のところの花壇を当社が運営をいっており、管理士のアドバイスをともに管理させていただいております。季節の花等を植えさせていただいて、駐輪場を運営しているのですが、あとは阪急の芦屋川等にもプランター等がございますので、そちらのほうで実施させていただければと思っております。こちら芦屋市様のほうから、ここちょっとやってもらえませんかと依頼がありましたらすぐに対応させていただきたいと考えております。

(朝沼委員長) 他に御質問ありませんでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、長時間ありがとうございました。これで終わらせていただきます。

(ミディ総合管理株式会社) ありがとうございました。

(休憩)

[駐輪サービス]

(朝沼委員長) それでは10分間でプレゼンテーションさせていただきたいと思います。その後、10分程度各委員のほうから御質問をさせていただきますのでよろしくお願いをしたいと思っております。それでは今から始めてください。どうぞ。

(駐輪サービス) 当社のプレゼンを始めさせていただきます。

当社は、三大都市圏で約420カ所、約30万台の駐輪場を管理させていただいている関西を地場とした会社でございます。

芦屋市といたしましては、もともと当社がやっていた経緯もございまして、現状の保管所も含めて当社がやっていた経緯がございます。

また、近隣市といたしましては、神戸市、尼崎市等々の駐輪場を現在も管理させていただいている会社でございます。特に、JRの尼崎の駅前で当社が保管・返還所、駐輪場以外の保管返還所、そして放置自転車、撤去、そしてもう1つが啓発業務、この4つの業務を一括でさせていただいて、非常に好評を得ている状況でございます。

この中で、今回の提案は4つの柱がございます。1つはサービス業としての駐輪場を芦屋市に実現したいということが1つでございます。このために何が重要かと申しますと、人を育てることだと思っております。この人というのは、サービス業ですので、サービスを行うサービス係員が駐車場の管理人であるということですね。当社が27年間マニュアルをいろいろと積み重ねてきましたが、そのマニュアルを使ってやはり駐輪場のサービス係員をつくっていった、育てていったということでございます。

その中で我々一番大切にしておりますのが、笑顔で挨拶でございます。駐輪場というのは、お客様が朝、晩とやはり一番初めに公人に挨拶をする場だと考えておりまして、我々の会社では一番これを重要視しております。我々が管理している駐輪場に、必ず旗を、笑顔で挨拶という旗もありますし、全員がこういうものをつくってお客様に笑顔で挨拶をしますよというお約束をしながら、業務に励んでいるということです。

もう1つがハウ・レン・ソウ。これは、やはり駐車場というのは毎日いろんなことが起こります。もちろんその現場にはチーフという形で現場責任者もおりますが、それを対応できるという仕組みをつくらないとなりません。そのための仕組みとして、ハウ・レン・

ソウを最重要視しております。当社は、今回の場合は神戸事務所が管轄をしますが、所長、そしてその下の現場長というのが芦屋市で常駐すると思いますが、その人間にいつでも連絡をとりながらハウ・レン・ソウをする体制、今非常に重要になると考えています。

次に、大事になるのが管理人のモラルでございます。やはり、幾らいいことを我々が言っても、彼らがやる気を出してもらわないとできないです。そのために我々何をやっているかといいますと、1つはこういう宣言カードというのを全員に配りまして、これは何が書いてあるかといいますとさっき言ったハウ・レン・ソウでありますとか、笑顔で挨拶でありますとか、やはり我々が一番大事にするキーワードが書いてあるものがあるのですが、それを毎日の朝礼、週礼で確認をしながら、それを毎日掌握しながら徹底を図っている、これが1つです。

もう一つが月刊行事というのがあるのですが。それは、毎月サービスでありますとか、清掃とかいろんなことをやらせておりますが、これを我々が単にやらせるのではなくて現場のチーフ、管理人たちが考えて提案させて、それをやらせる。それをやることによって、やはり我々が考えもつかない、いわゆるお客様からの意見から新しいサービスが生まれたり、他にもいろいろなことが生まれております。それを評価する上で、我々は社員に一応その報告書が上ってきますので、みんなで採点をして金賞、銀賞、銅賞、そして社長賞というような形でほめる、やはりほめることが大事なので、そういう形をさせていただいております。特に、その成果を上げた人間の中で今現在7人いますが、彼らの駐輪場で管理をしていた人間が社員になって、現場長として活躍をしているのが今7人おります。そういうような形で、やはりやる気を出すというのは非常に大事だなというふうに思っています。

もう1つが、働きやすい環境をつくってあげないといけないなというふうなことを考えていまして、今年はずごい猛暑だったので、やはりクールネックチーフでありますとか、夏用の帽子とか、やはりそういうことを小まめに彼らのことを考えてやるのが、やはり現場のサービスの向上につながっていているという実感がございます。また、本社では、産業カウンセラーのような者も仕組みとしてありまして、やはり現場で何か困ったことを相談する窓口を設けています。

2つ目は、やはりサービスと交流をどうバランスよくやっていくかでございます。今回の提案では、やはり管理人の人数を現状より減らせるというふうに我々考えました。それは、27年間我々やっておりまして、他市でもいろんな駐車場を見ておりますが、その中で今回はこのぐらいでできるなというものをゼロベースで考え直して、組みました。それをベースに人を減らすということを1つやっています。かといって、やはり人を減らすだけではだめ。サービスをどれだけ強化していくかという面で、我々は一つはサービスを強化する面でやっておりますのは、駐輪場の入り口にWelcomeボードといまして、きょうは私が接客しますよというようなことを案内をしたり、あと地域の情報ボードといまして、やはり地域の情報を発信基地として駐輪場を使っていただきたいということで、そんなことも考えさせていただいておりますし、またJR芦屋の南側では、今回民間の駐輪場がなくなるということで、非常に供給不足になっているのがありますので、当社としてはJR芦屋の2というところにスライドラックを設置しまして、約50%の増加が見込まれるということでございます。このスライドラックに関しましても、終了後は寄附させていただこうかなと考えています。

また、芦屋市の施設では、かなり老朽化が目立つ施設が何個かありまして、特に我々が考えているのは阪急の芦屋川の松ノ内でありますとか、南、北という部分が、やはり非常に老朽化して、汚くなっているところもあるので、そこら辺の塗り直しをぜひやらせてい

ただきたいというふうに考えています。

また、阪神の芦屋の西という駐輪場にコインポストという自転車を駐輪する施設があるのですが、非常にもう老朽化して壊れている部分もあるのですが、やはり美観としても非常に悪いというふうに考えていますので、そこを新しいものに全て入れかえるということも考えています。

それ以外にも、やはりサービス面では我々420カ所の駐輪場のノウハウがございまして、そのみんなの駐輪場、さっきも言ったように、駐輪場からいろんなアイデアが出てまいりますので、期間中でもこういうことをまた芦屋でやったらいいねということがありましたら、ぜひそれを実現させていただきたいなというふうに考えております。

3つ目は、セルフモニタリングです。我々やはりこの指定管理で今問題になっているのは、提案はいいことを言う、でもなかなかそれが実現できてないというところも多いです。そのためのモニタリング制度というのは指定管理を立ち上がるときに、全てのものはやるべきだということだったのですが、なかなかそれが各種できてないところもあるので、我々としては、社内でそれをちゃんと見ていこうということで、社長の直属の監査室というのを設けています。これは、監査室長は元専務がやっているという非常に重い部署ですけども、これを使いまして、現状の提案事項でありますとか、お金の管理等全てのものを監査して、改善をしていく、見直していく。そしてこちらの市ではモニタリング制度ありますので、我々がセルフモニタリングする部分は、この監査室がちゃんと社内から第三者としてモニタリングをしていくような仕組みをつくりたいなというふうに考えています。

次に、4つ目になります。これは何かといいますと、我々オリジナルのキャラクターでございまして「駐輪くん」というのを今つくってございまして、非常に各地に出動して、評判を得ております。我々、やはり駐輪業界では大手ですので、やはり自転車のマナーを子供たちに啓発をするという社会的な責任だと思うので、これを何とか駐輪くんをベースに考えていきたいという機関があります。この駐輪くんの自主事業として、この駐輪くんのグッズなんかもぜひ販売させていただきたいと思っております。

このように、我々27年間積み上げた実績、ノウハウをこの芦屋市に生かしまして何とかさらにいい駐輪場をつくっていかうと考えておりますので、ぜひ当社に指名をいただければありがたいと思っております。以上でございます。

(朝沼委員長) どうもありがとうございました。それでは、各委員のほうから御質問させていただきますのでよろしくお願いたします。何か質問のある方はどうぞ。

(高原委員) 利用者の不正利用に対する取り組みというのはどういうことを考えていらっしゃるのでしょうか。

(駐輪サービス) よく不正利用ということはあるんですが、一番問題なのは定期のシールが張ってないとか張ってあるのでわかります。それを張っていないのが不正利用というよりもどちらかというと張らないという人が多いです。きっちり話をすることによって張らない人が見つかる。そうした場合に、張らない人に対する人に警告文とかそういうものをきっちりさせていただくというので、やはり不正が減ると思っております。

ただ、問題なのは一時利用で、学生さんが走って逃げるような事案がありました。そのときに駐輪場のおじさんが、「待て」と大きい声を出して苦情があったことが前にありまして、非常にやはりサービスが難しい。単に正しいことをさせるだけじゃなくて、周りのお客さんが快適に、気持ちよく利用できる駐輪場が大事なので、そのバランスを考えてやらせていただきます。

(三谷副委員長) 安全対策の欄に記載があったかと思うのですが、防災対策の中でメタノール燃料電池を用意するということが書いてありまして、これは具体的にどうい

のなのでしょうか。

(駐輪サービス) 我々もいろいろなところでやっているのですが、時々停電とか起こるんです。芦屋市ではあまり機械式の駐輪場はないんですけども、機械がとまったことによつて非常に迷惑がかかることがあるので、今本社に3台、そして名古屋支店には今1台あるのですが、それを使って急遽持ってきて、それを発電機として利用してやっていくというのが我々の考え方です。

非常に今、都市型の災害とかが多いのでいろいろなことで活用できるのではないかとということで、去年から本社に導入したので、停電時等にそういうものを活用していければと考えております。

(三谷副委員長) 持ち運びができるのですか。

(駐輪サービス) もちろんそうです。

(三谷副委員長) わかりました。

(朝沼委員長) 他に御質問ありませんか。

(遠藤委員) 運営管理費について拝見しますと、収入は先ほど御説明がありましたように、キャパアップも考えられておられますので、収入は現状よりは増加しているという取り組み、片や先ほど人は減らし、効率性も追求しつつサービス向上を下げません、上げますというお話があったのですが、人件費になりますとかなり減らそうと考えている。収入がアップしますから当然キャパもふえますので、その差、より少ない資源でたくさんの収入を得ようというやり方、実際取り扱う量をふやそうとされているのに人を減らすという、何か一見矛盾するように拝見しますがこのあたりの仕組みを教えてください。

(駐輪サービス) これは、まずキャパアップするところが、先ほど言いましたようにJRの南側の2という駐輪場です。これは定期の駐輪場で巡回型になっています。なおかつ、今のところは普通に置くのであればたばた倒れる。ビル風があつて倒れていると異常に余りいい駐輪場じゃないイメージがあります。今回は、こういう形で逆に置くところが限定されます、ラックを入れますので。だから、逆に手間はかからなくなる、収入はふえるけど手間はかからない。もちろん定期を売るという作業は少し増えるにしても、それに関しても南のところではできますので、基本的には問題がないと考えております。

削減に関しては、今一番大きいのがJRの北という駐輪場、今地下3階までであるところですが、駐輪場を見ますと、3層あるということで、今人を厚くしておられますが、我々いろいろなところをやっていると、そこまで必要ないと考えています。もちろん人の面で、地下3階に人がいなくて大丈夫かという話もありますが、前にも言ったように、南でも定期の場所は人がもともといません。要するに巡回型の駐輪場もあるわけですから、そこら辺は巡回で対応ができるという判断をしていますので、先ほども言いましたとおりサービスの低下にはつながらないというふうに考えております。

(遠藤委員) 具体的に、積算といいますか何人で雇用をお考えでしょうか。

(駐輪サービス) 全体の管理人の数字に関しては、43名の雇用を予定しております。大体平均で100時間強の通常勤務時間という形で考えております。

(朝沼委員長) ほかに何かございませんか。

(朝沼委員長) いろいろと先ほどの視点、なかなかいい発想をお持ちだと思っておりますが、地域コミュニティとの関係、駐輪場というのはまさに市民が日常的に使うものですが、その辺どのように考えておられますか。

(駐輪サービス) やはり町内会とか、放置自転車撤去というのはコミュニティでやられることが多いので、それに参加していることがすごく多いですね。先ほど言いました駐輪くんっていうのがあるのですが、ゆるキャラも持っていてそれを使って、先ほど言

いましたとおり、地元の祭りとか参加させていただいて、子供たちにやはり自転車をこう乗るんだよというような教室をやらせていただいたり、ビラを配らせていただいたりしていますし、あともう一つ、まちの美観というのでポットを寄附させていただいて、みんなでそれに植えて町全体用の美観をしていく。うちも駐輪場では、これも提案させていただいていますけども美観としては緑のカーテンみたいなこともきっちりやっていますので、地域のコミュニティとのバランス、協力関係というのは非常に大切にしております。

(朝沼委員長) 他に質問ございませんか。よろしいですか。それでは、これで終わらせていただきます。

(駐輪サービス) ありがとうございます。

[C社]

(朝沼委員長) それでは、これから10分間でプレゼンテーションをしていただきます。その後、10分程度各委員のほうからいろいろ質問させていただきますのでよろしくお願いをしたいと思います。それではどうぞ始めてください。

(C社) それでは、芦屋市自転車駐車場運営のプレゼンテーションを始めさせていただきます。

我々は、まちづくりの一環としての駐輪場整備を企業理念とし、XXXXXXXXXXという駐輪場名称にて関西圏を中心に約335カ所、約7万8,000台の駐輪場のXXXXXXXXXXによる整備及び管理運営業務を行っております。これまで培ってきたノウハウを生かし、このたび公募が出されております自転車駐車場の管理運営に限らず、周辺地域一帯の放置自転車を減少させるべく自転車マナー啓発活動等の取り組みを行い、まちの活気高揚に努め、人とまちを快適さでつなぐ都市環境の創造を目指して本利用の管理運営を行ってまいります。

まず、様式2の(3)駐輪場の管理体制についてですが、貴市と協議の上了承が得られれば利用者サービスの提供のため、これから御説明する施策を行うことを御提案いたします。

効率的な運用が見込めると判断した阪急芦屋川駅北自転車駐車場、JR芦屋駅南自転車駐車場3、阪神芦屋駅西自転車駐車場の3カ所の一時利用エリアに機械式駐輪器具の導入、運用を提案いたします。機械式駐輪器具を導入することにより、夜間や無人時でも利用者から料金を徴収することができることから、24時間365日対応の自転車駐車場の運営が容易となり、利便性の高い自転車駐車場を運営することが可能となります。

また、職員による一時利用料金の徴収の手間がなくなることで周辺自転車駐車場への巡回、また利用者に対する接客等においてより手厚いサービスの提供が可能となります。さらに、隣接する定期利用エリアで発見した不正駐車車両を機械式駐輪器具に移動させ課金することで不正駐輪対策及び自転車駐車場利用者の公平性、平等性を保つことが可能となります。

各駐輪器具のデザインの特徴としては、公募提出資料の写真もあわせて御確認いただければと思いますが、自転車用機械式駐輪器具については、フレームに丸みを持たせることで無機質なイメージを和らげており、またバイク用機械式駐輪器具については、原付用ラックの色を緑色、自動二輪用ラックの色をクリーム色とすることで、利用者が利用区分を一目でわかるよう配慮してまいります。

一時利用エリアに機械式駐輪器具を導入する阪急芦屋川駅北自転車駐車場、JR芦屋駅南自転車駐車場3に関しましては、利用者に駐車状況が一目でわかる満空表示灯を導入してまいります。満空表示灯を導入しない自転車駐車場に関しましては、満空情報を明示す

自転車駐車場運営を行うよう努めてまいります。

私どもは、駐輪場事業をサービス業と捉え、日々運営を行っております。これまで培ってきたノウハウを生かしながら、利用者や近隣住民の方々の多様なニーズをひろい、より質の高いサービスを自転車駐車場利用者に提供できるよう努めてまいります。

簡単ではございますが、以上で指定管理選出に係るプレゼンテーションを終了させていただきます。御清聴、ありがとうございました。

(朝沼委員長) どうもありがとうございました。それでは、各委員のほうから幾つか御質問させていただきます。よろしく願いいたします。御質問ある方、どうぞ。

(遠藤委員) 資料6の1の管理運営費で駐車場管理運営費、26年度からやられますが、支出のほうですけども、項目の下から二つ目ですが自主事業と経費、これが大体毎年1,000万円ほど上がっておられるんですが、これの中身を大まかに教えていただきたいと思います。

(C社) 自主事業ということでございまして、このたび機械式駐輪器具の導入ということで提案させていただいております。機械式駐輪器具の導入に当たりまして約4,800万円の初期投資費用を含んでおります。その他、各クラウドシステムの導入ということでございますので、各自自転車駐車場にございましてはパソコン等の監視システムの導入を図っております。その他自主事業といたしましては、自動空気入れ、また災害時の非常食の備蓄ということで費用を計上させていただいております。

(遠藤委員) 機械が4,800万円、約5,000万円ほどかかるということですか。

(C社) はい。

(遠藤委員) これは購入、各5年間どういうふうに割り振っているのですか。

(C社) 初期投資費用、約5年ですね。各事業時に割り振りましてそれで算出させていただきます。

(遠藤委員) それは、先ほどおっしゃったかなり機械化を前面に出された取り組み、その効率性に負わせて、ほかの品質を上げるという仕組みだと思っておりますが、要するにハードは自動料金徴収機とかそういうのも入っているのですか。

(C社) はい。

(遠藤委員) 具体的には、システム、ソフトウェアの話なのか、料金徴収機とか定期利用更新機とか太陽光パネルといったハード系のものなのでしょうか。

(C社) そうですね、はい。そういったものになります。

(遠藤委員) これは既に実績があるということで、既にそのベースがあるので初期投資ではないのではないかなと思うのですがどうでしょうか。

(C社) はい、そちらに関しましてはそうですね。初期投資ではありません。

(遠藤委員) それであればハード代ですか。

(C社) ハード代、パソコン等の導入とかそういったあたりの金額を自主事業の経費のほうに入れさせていただいております。

(遠藤委員) はい。

(朝沼委員長) 他に御質問はありますか。

(遠藤委員) お話しございましたけれども、人件費が6,400万円ほどで現行の1,000万円ほど安いというお話でしたが、具体的な人数は大体何人ぐらいの雇用をされるのでしょうか。

(C社) 具体的な採用となると、実質どれぐらいの採用人数、集まるかどうかというお話になってくると思うんですけども、公募資料のこちらのほうにコスト数のほうが提示させていただいております。これの約2倍程度の人員は確保しようかなとは思っている

(C社) 基本的には、職員がいる場所に関してはお声掛け等でそういった注意を促すということでございますが、あとは啓発パネル等の目につく表示をさせていただきまして、未然に事故等未然対策するという方法を主にとらせていただくことは考えております。

(C社) 一つ付け加えさせていただきますと、我々の会社の事業にあります理念として、きれいで明るく安全な駐輪場運営というのがありますので、それに基づいてできるだけ明るくて、きれいで、夜でも安心してとめられる駐輪場を目指していくということを掲げておりますので、それに準じたことを今回も行って参りたいと思っております。

(朝沼委員長) 他に御質問はございませんか。よろしいですか。それでは、これで終わらせていただきます。長時間、どうもありがとうございました

(C社) ありがとうございました。

[D社]

(朝沼委員長) それでは、10分間でプレゼンテーションしていただきまして、その後、約10分程度各委員のほうから御質問させていただきますのでよろしく願いいたします。それでは、どうぞ。

(D社) 10分間の制限時間がございますので、お手持ちの提案書のほうの内容をピックアップして御説明させていただきたいと思えます。

まず初めにインデックス番号の3番を御参照いただきますでしょうか。

初めに、**〇〇**は**〇〇**として**〇〇**、綺麗、快適、機能的な駐車を提供しようをモットーに管理運営業務を行ってまいりました。全国の自治体で指定管理、受託管理、民間での管理を合わせて約1,230カ所、約50万台の管理しております。その中でも芦屋市様の近辺では、**〇〇**市、**〇〇**市の指定管理業務、民間では**〇〇**、**〇〇**等で管理運営を現在行っております。

芦屋市様では、芦屋川特別景観地区、芦屋景観地区を指定されております。これを受けて、**〇〇**モットーの綺麗の部分に関しましては、放置自転車に対して**〇〇**を配置しまして、積極的な啓発活動により放置自転車を削減し、まちの美観に配慮していきたいと考えております。

次に、快適な部分に関しましては、**〇〇**では自転車駐車の管理運営業務はサービス業であると認識しております。**〇〇**によるハイレベルな管理教育を実施することにより、管理員の接遇レベルを向上させてお客様に快適に御利用いただける駐車場づくりを目指しております。

最後に、機能的の部分に関しましては、機械精算式ラックや機械精算式コインポストを採用しまして、無料時間を設定することによる短時間利用者の利用促進、それに伴う放置自転車の削減、また置き場改革による利便性の向上を図り、お客様のサービス向上へとつなげてまいります。

以上のことから、安定性のある**〇〇**の実績とノウハウを活用しまして、自転車駐車の品質をさらに向上させることができると考えまして、本件に応募させていただきました。

続きまして、インデックス番号の4番を御参照いただきますでしょうか。

管理体制でございますが、まず各自転車駐車場に現場リーダーを配置させて、統括責任者がそれら全体を管理いたします。**〇〇**事務所の**〇〇**長、修繕担当の設備責任者が業務のフォローを行い、スタッフは芦屋市様の担当窓口となり、管理運営のスタッフを芦屋市様との協議の上決定してまいります。これらのとおり、スムーズかつスピーディーに報告や指示を伝達でき、適正に管理運営できる体制を構築していきたいと考えております。

続きまして、こちらのインデックス4番の最後のページを開いていただきますでしょうか。

サービス向上の取り組みとしまして、まず一つ目に阪急芦屋川駅自転車駐車場の周辺には、北側にしか一時エリアがございません。南側の松ノ内自転車駐車場には定期エリアのみでございまして、空きスペースがある状況でございます。そこで置き場改革として、機械精算式ラックを約20台設置しまして、空きスペースの有効活用と一時利用のニーズを取り組みたいと思っております。

この設置予定の機器は、■■■■で開発した新型機器でございまして、バッテリー式を採用しておりますので、電源工事は不要でございまして、簡易に施工が可能です。また、その他の場所でも設置可能な場所やニーズがございましたら、芦屋市様と協議の上設置を積極的に検討していきたいと考えております。

次に、阪神芦屋駅西自転車駐車場に現在設置しておりますコインポストを機械精算式コインポストに変更したいと考えております。現場調査による利用台数を鑑みまして、約100台の変更を想定しておりますが、これも芦屋市様との協議によって最終台数は決定していきたいと考えております。

これらの機械精算式を導入することによりまして無料時間を設定できますので、短時間利用者の取り組みで利用率向上を図りまして、それに伴って放置自転車の削減につながってまいります。こちらコインポストと違って、おつりの対応が可能ですので、お客様の利便性の向上にもつながりますし、また利用の際に暗証番号登録をしていただくことによって防犯性の向上にも寄与すると考えております。

続きまして、付加サービスとしまして、現指定管理者様が実施している電動空気入れやAEDを継続実施いたします。また、自転車駐車場に花のプランターを設置しまして、芦屋オープンガーデンへの参加や芦屋わがまちクリーン作戦の清掃活動に積極的に参加しまして、地域に根差した自転車駐車場を目指していきたいと考えております。

続きまして、インデックスナンバーの6番の2ページ目を参照いただきますでしょうか。

こちらのページの一歩下の記載にある自動販売機の設置に関してでございます。近年世間で防災意識が高まっている中で、災害等の緊急時に停電状態でも無料で飲料の供給が可能な自動販売機を設置したいと考えております。こちらの自動販売機は非常用解除キーによりドアを開閉することができまして、ワイヤーで商品が取り出せるため停電状態でも使用できますので、こちらは市民の皆様の安心、安全も配慮してこちらの敷地に自動販売機を設置したいと考えております。

続きまして、インデックスナンバーの8番を参照いただきますでしょうか。

個人情報の保護についてですが、■■■■は全国で約50万台の管理実績を持っておりますが、その分扱う個人情報量も膨大でございまして、個人情報保護管理を最重要課題として取り組んでまいりました。これらを考慮しまして、もともと社内で規定しております個人情報保護指針に加えまして、日本で唯一の外部認定機関でございます日本情報経済社会推進協会より第三者認定を受けまして、このたび平成■■■■年■■月にプライバシーマークを取得することができました。

芦屋市様の自転車駐車場でも約3,500人以上の個人情報を扱う予定でございまして。その上で、■■■■では社内ですっかりとした個人情報保護体制を設けておりまして、また個人情報保護士の資格を有した専属の教育責任者が全職員に対して研修を実施しまして、最重要事項として意識させて個人情報漏えいが絶対に発生しないように徹底を図っていきたくと考えております。

続きまして、インデックス番号7番の収支についてでございます。

収支見込みにつきましては、5年間合計6億1,013万円で積算いたしました。考え方につきましては、平成24年度の実績と増設分については現地調査で状況を把握した上で見込みを算出いたしました。

支出見込みにつきましては、5年間合計6億608万8,000円で積算いたしました。積算合計につきましては、専門業者による見積もりや募集要項の実績をもとに積算いたしました。大規模修繕積立金はこれらの積算した収支見込みより適正な運営管理が可能である金額を積算しまして、5年間合計6,504万3,000円で提案させていただきました。

最後になりますが、最近では自転車駐車場に対してお客様の見る目も変わってきております。特に個人情報の管理は大きなトラブルに発展するリスクもございます。よって■■■■では、前段で述べさせていただきましたプライバシーマークの取得と合わせて、危機意識を持って対応したいと考えております。加えて、機械式導入による置き場改革や利便性の向上、地域に根差した管理を行っていきたいと考えております。

これらをもって、■■■■のモットーである綺麗、快適、機能的な自転車駐車場を目指していきたいと考えておりますので、ぜひ■■■■に採用いただきますよう御検討のほどどうぞよろしくお願いたします。

以上で、■■■■の説明のほう終わらせていただきます。御清聴のほどありがとうございます。

(朝沼委員長) ありがとうございます。それではここから10分ないし15分ぐらいで質問させていただきますのでよろしくお願いします。各員の方、質問のある方、どうぞ。

(三谷副委員長) 先ほどの御説明の中に、■■■■という言葉がありましたけども、具体的にどういうことをされていらっしゃるんですか。

(D社) こちらの■■■■でして、例えば放置自転車に札まったり、例えばチラシとかで市民の皆様に放置自転車をやめましょうといった啓発活動が専門の■■■■でございます。

(三谷副委員長) なるほど。その■■■■は会社の中にたくさん御用意されているわけではなく、■■■■がいろんなところにそういう啓発活動を行っているわけですか、それとも、駐輪場ごとにそれが設置されているのでしょうか。

(D社) 芦屋市様の自転車駐車場全体の■■■■でございます。いろんな各駅に回って、啓発活動をして放置自転車の削減に寄与するための■■■■でございます。

(三谷副委員長) なるほど。過去の実績概要を教えてくださいたいのですが、それをするによってどの程度効果があったかというのを検証されていたら教えていただけませんか。

(D社) 現在■■■■市のほうで指定管理業務を行っているのですが、そちらのほうでも■■■■を設けておりまして、駅の前で、例えば■■■■という駅がありまして、そちらの駅では放置自転車がすごく多かったのですが、■■■■とまた自治体と協力しまして、■■■■と■■■■の間に広場があったのですが、■■■■のキャンペーンでしたり、自治体との連動のキャンペーンで現在広場前の放置自転車が今なくなった状況になっております。

(三谷副委員長) なるほど、わかりました。

(D社) 補足させていただきますと、すぐに結果が出るようなものではなくて、地道に札をまいてお客様にこちらに駐輪場がありますので、今度来るときは行ってくださいというようなことを何回も重ねることによって、だんだんいつも置いている方が気まづくなってくると。あそこに駐輪場があったなというようなことになっていただくと。そういう

ことで、放置自転車が少しずつ減っていくというような検証はやっておりますので、間違いなく減っていくだろうと思っております。

(中野委員) 新しいラックを設置とか、精算機のポストラックを御提案されておりますが、そこら辺の経費はどこに計上されているのでしょうか。

(D社) 経費は、リース費として上げています。

(中野委員) 機械リース費ですね。

(D社) はい。こちらのほうに、機械精算式の千円タイプとラックタイプという形で計上させていただいております。リース期間は5年間で、リース期間を設けております。

(中野委員) 単年度で割っていただいておりますね。

(D社) はい。

(朝沼委員長) 他に御質問ございませんか。

(中野委員) 人件費が年々数百万円ずつ増加しておりますが、今の社会動向を見きわめながらのベースアップというふうに考えていいのですか。

(D社) こちらは、最低賃金の増額がございますので、こちら過去の実績を参考に今後各年度上っていくだろうと予測しまして、人件費その分時給が上りますのでその分の上げ幅になっております。

(朝沼委員長) 従事される管理人さんの総数はどれぐらいの人員になるのですか。

(D社) いろいろシフトとかもございます。総数で言いますと91名で想定しております。

(中野委員) 本市の状況をよく踏まえていただいて、オープンガーデンの参加とか、それから美化に努めるとかいろいろ御提案いただいておりますが、オープンガーデンは具体的に設置場所も限られてくるかと思うのですが、具体どのように取り組まれるのですか。

(D社) 他の駐輪場でも実績があるのですが、いろいろ花のプランターを自転車駐車場の管理ボックスの空いているスペースとか、そちらのほうに設置したいと考えております。駐輪自転車の駐車に影響がないところに鉢植えを置いたり、フェンスがあったらフェンスに掛けられるという、これも許可が必要だと思うのですが、そういった花の演出をしていきたいと思っております。

(中野委員) 御提案書にも示していただいておりますように、特別景観地区、景観地区とか芦屋市の場合ありますので、その辺も十分配慮して美しく、いろんな手当をセットしようかなと、そういうような御提案ですか。

(D社) そうです。

(朝沼委員長) ほかに何か御質問ございませんか。

(朝沼委員長) 自主事業で、他にもいろいろたくさんこの施設の指定管理等をやっておられると思うのですが、芦屋市で初めて今回提案するような自主事業というのはありますか。

(D社) 今回、自主事業というか今回新しく弊社が開発させてもらって機械式の精算ラック、先ほどちょっとは御説明させてもらったバッテリー式ですね。これを芦屋市さんで新しく導入させていただこうと思っております。

もちろん、フィールド実験等はさせてもらっている商品で、 でつくった機械ですが、これの利点は、環境に優しいということでまずは電源工事が要りません。バッテリー式ですので、非常にコンパクトに設置ができるというような、埋設工事もアンカーどめだけということでスムーズな工事ができます。こういう機器を開発させてもらったのも、もし御採用させていただければ指定管理者様で最初にやらせていただくというようなことになります。

(D社) それともう一つは、先ほどの自動販売機がいわゆる停電時でも飲料提供がで

きるというこの自動販売機も初めて芦屋市様のほうで設置させていただこうと考えています。

(朝沼委員長) わかりました。

(中野委員) その災害時に飲料販売、災害とはどんなものを想定されているのですか。

(D社) これは、台風が来たとか、大きな地震があるというようなときに、皆さん避難場所というようなところで特に駐輪場のような大きなところには人が集まってくると思うんですね。そのときのライフラインを確保するという意味合いで、自販機の中の、お金を入れずにワイヤー式で取れるというようなものですので、それが防災に役立っているというように、利用者の人のライフラインを確保するという目的でつけさせていただこうと思っております。

(中野委員) 通常は有料販売ですか。

(D社) 通常は有料販売です。

(中野委員) コンビニでも、このごろよくそういう対応したものが出ていますので、ですから、そういう比較的避難を要するような災害が発生したときに対応するということですか。

(D社) そうですね。大きな災害を予想しました。

(中野委員) 用意の実績はあるんですか。

(D社) 今までありません。

(中野委員) はい、わかりました。

(朝沼委員長) 他に御質問ありませんか。よろしいですか。ありがとうございました。それではこれで終わらせていただきます。どうも御苦労さまでした。

(D社) どうもありがとうございました。

(朝沼委員長) お手元に配られておりますけれども、これで集計の結果はミディ総合管理株式会社、これが772点で最高得点、それから2番目、次点が株式会社駐輪サービス、これが757点で次点という結果です。

ということでミディ総合管理株式会社を当委員会としては選定するというところでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

(朝沼委員長) それから、次点候補者も7割を超えていますので株式会社駐輪サービスを次点候補者で決定したいと思います。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

(朝沼委員長) そうしましたら、長期間お疲れ様でした。

(事務局 宮崎) 最後に簡単に御挨拶申し上げます。

本日は御多忙の中、また6社のプレゼンテーションという非常に多い中から指定管理者候補者及び次点候補者を選定いただきまして、大変短い時間の中でやっていただきました。本当にありがとうございました。

この後、選定いただきました指定管理者につきましては、12月の市議会の中で諮りまして正式に決定するよういたします。

また、この指定管理者候補作業というのは市職員にとっては5年に1回ということで、非常に不慣れな点が多くございまして大変御迷惑おかけました。それをまたフォローいた

だきました先生方の皆様方には大変深くお礼申し上げます。

また、委員会これで終わりですけれども、また芦屋市の自転車駐車場事業につきまして、またお気づきの点がございましたら御指導なり、お申しつけなりまた今後ともよろしくお願いたします。本日はどうもありがとうございました。

(朝沼委員長) それでは、これで当委員会、終了させていただきます。本当に長時間、各委員の方、御苦勞さまでした。ありがとうございました。